



2024年1月24日

報道機関 各位

能登半島地震における神経発達症および 子どもの神経疾患に関連するオンライン 相談の開始について

令和6年能登半島地震では、福祉避難所¹⁾の開設は限られ、神経発達症²⁾(発達障害³⁾)を持つ子どもと家族は、他の被災者にも増して苦勞しています。本学会は、障害のある子ども達の災害対策を進めてまいりました。その一環として、この度、被災された神経発達症および医療的ケア児⁴⁾を含む小児神経疾患をもつ子どもとその家族および被災した子どもに関わる避難所スタッフ、保育や教育・療育関係者、自治体職員を対象にオンライン相談を行います。

【対象】 令和6年(2024年)能登半島地震で被災した神経発達症および小児神経疾患を持つ子どもとその家族および被災した子どもにかかわる避難所スタッフ、保育や教育・療育関係者、自治体職員。

【相談員】 日本小児神経学会⁵⁾に所属する小児神経専門医

【費用】 無料

【期間】 令和6年1月25日から4月末まで。状況を見て延長

【日時】 月-土曜日の9-12時、14-19時。1件につき30分

【方法】 Zoomを用いたオンライン対面相談。処方が必要な場合は岩手医科大学オンライン診療システムのYaDocを使用。

【申込先】 日本小児神経学会 HP <https://www.childneuro.jp/>

メールで、jscnsaigai24@childneuro.jp に相談者氏名・相談内容、職務上の相談の場合は勤務先名・所属部署を入力し送信する。担当者がメールで相談者と相談内容の確認と相談日時の調整を行った後に、ZoomのURLとパスコードが通知され、当該日時に相談員が相談に応じます。



【用語解説】

- 1) **福祉避難所** 高齢者、障害者、乳幼児など一般の避難所での生活が困難で配慮を要する人たちが、災害が発生した場合に避難できる場所。令和元年 10 月 1 日時点で、災害対策基本法等で定める基準に適合する指定福祉避難所は 8683 箇所、協定等により確保されている福祉避難所は 22078 箇所ある。
- 2) **神経発達症** 米国精神医学会の「精神疾患の診断・統計マニュアル第 5 版(DSM-5)」で発達障害に代わって新たに設けられた疾患概念で、神経発達の異常により発達期に発症する、学習や社会行動、知的な能力の機能障害を意味し、発達障害や知的障害が含まれる。
- 3) **発達障害** 生まれつきみられる脳の働き方の違いにより、幼児のうちから行動面や情緒面に特徴がある状態。平成 16 年に発達障害者支援法が公布され、自閉スペクトラム症、注意欠如・多動症、学習障害、チック症、吃音などが含まれる。
- 4) **医療的ケア児** 人工呼吸器による呼吸管理、喀痰吸引その他の医療行為を受けることが、日常生活及び社会生活を営むために恒常的に不可欠である児童。
- 5) **日本小児神経学会** 1961 年に始まった子どもの発達や神経、筋肉に関する疾患を診療する医師と研究者の学術団体。日本医学会加盟。2023 年 12 月 1 日時点で、全都道府県と海外に、1291 名の専門医を含む 3944 名の会員がいる。

一般社団法人日本小児神経学会

理事長 加藤光広

URL <https://www.childneuro.jp/>

【本件に関する問い合わせ先】

一般社団法人 日本小児神経学会 災害対策委員会

委員長 木村重美(きむらしげみ)

E-mail: jscn_fukushihinan@childneuro.jp

ご参考 本学会は全国の特別支援学校が「子どものための指定福祉避難所」に指定されるための活動を行っています。



本学会が行っている災害関連情報は HP をご参照願います。

